

9月21日

れい
礼

はい
拝

ま ね
招き の こと ば
言葉

か い か い い の
開 会 の 祈 り

し ゆ い の
主の祈り

てん われ ちち
天にまします我らの父よ

ねが
願わくは

み な
御名をあげめさせたまえ (つづ
続く)

みくに き
御国を来たらせたまえ

みこころ てん
御心の天になるごとく

ち
地にもなさせたまえ

つづ
(続く)

われ にちよう かに
我らの日用の糧を

きよう あた
今日も与えたまえ

つづ
(続く)

われ つみ おか もの
我らに罪を犯す者を

われ ゆる
我らが赦すごとく

われ つみ ゆる
我らの罪をも赦したまえ

つづ
(続く)

われ ころ あ
我らを試みに遭わせず

あく すぐ いだ
悪より救い出したまえ

つづ
(続く)

くに ちから さか
国と力と栄えとは

かぎ なんじ
限りなく汝のものなればなり

アーメン

つ み こ く は く
罪の告白の

か ん こ く
勧告

つみ こくはく きとう
罪の告白の祈禱

ばんぶつ つくぬし
万物の造り主、

ひと
すべての人の

さばぬし かみ
裁き主であられる神よ。 (つづ
続く)

わたし

私たちは、あなたの

せい

いまし

したが

聖なる戒めに従わず、

うしな

ひつじ

失われた羊のように

み まえ

まよ

い

御前から迷い出で、

つづ
(続く)

おも こと ば おこな
思いと言葉と行いにおいて

つみ おか み いか
罪を犯し、あなたの御怒りを

まね
招いたことを

ふか かな
深く悲しんでおります。 つづ
(続 く)

あわ ^と 憐れみに富んでおられる ^{ちち} 父よ。

おか ^{つみ} 犯した罪を ^{にく} 憎み ^{かな} 悲しむ ^{わたし} 私たちに

あわ ^{そそ} 憐れみを注いでください。 ^{つづ} (続く)

^{しゆ}
主イエス・キリストにおいて

^{わたし} 私たちを^{ゆる}赦し、^{み たま}御霊によって、

^う生まれ^か変わらせ、

^{み な}御名^{さか}の栄えのために

^い生きる^{もの}者とならせてください。(^{つづ}続 ^くく)

^{しゅ}主イエス・キリストの^み御^な名に

よって^{いの}お祈りいたします。

アーメン

つ み ゆ る
罪の赦しの

せ ん げ ん
宣言

し へん か
詩編歌 118

1. ^{めぐ}恵み^{あふ}溢るる^{しゆ}主に ^{かんしや}感謝を^{ささ}献げよ。

その御^み愛^いしみは ^か変わる^{こと}となしと。

イスラエル^い言^いうべし アロンもまた^い言え。

その御^み愛^いしみは ^か変わる^{こと}となしと。

2. ^{しゆ}主を^{おそ}畏るる^{もの}者ら ^{なや}悩みの中^{なか}より

^{しゆ}主を^よ呼び^{もと}求むれば ^{しゆ}主は^{こた}答えたもう。

^{しゆ}主は^わ我が^{かた}方に^た立ち、^{われ}我を^と解き^{はな}放ち

^{やす}安きを^{あた}与うれば ^{おそ}恐るるものなし。

(2/3)

3. わが^{かた}方にいまして 主^{しゆ}は助^{たす}けたもう

人^{ひと}に頼^{たの}まずして 主^{しゆ}にのみ頼^{たの}まん。

敵^{てき}われを困^{かこ}めど われに勝^{しょう}利^りあり

主^{しゆ}は敵^{てき}の願^{ねが}いを くつがえしたもう。

(おわり)

ぼつ かい き とう
牧会 祈 禱

こ せ っ き よ う
子 ども 説 教

もの が たり
「ザアカイ物語」

ふ く い ん し ょ
ルカ福音書 19:1 ~ 10







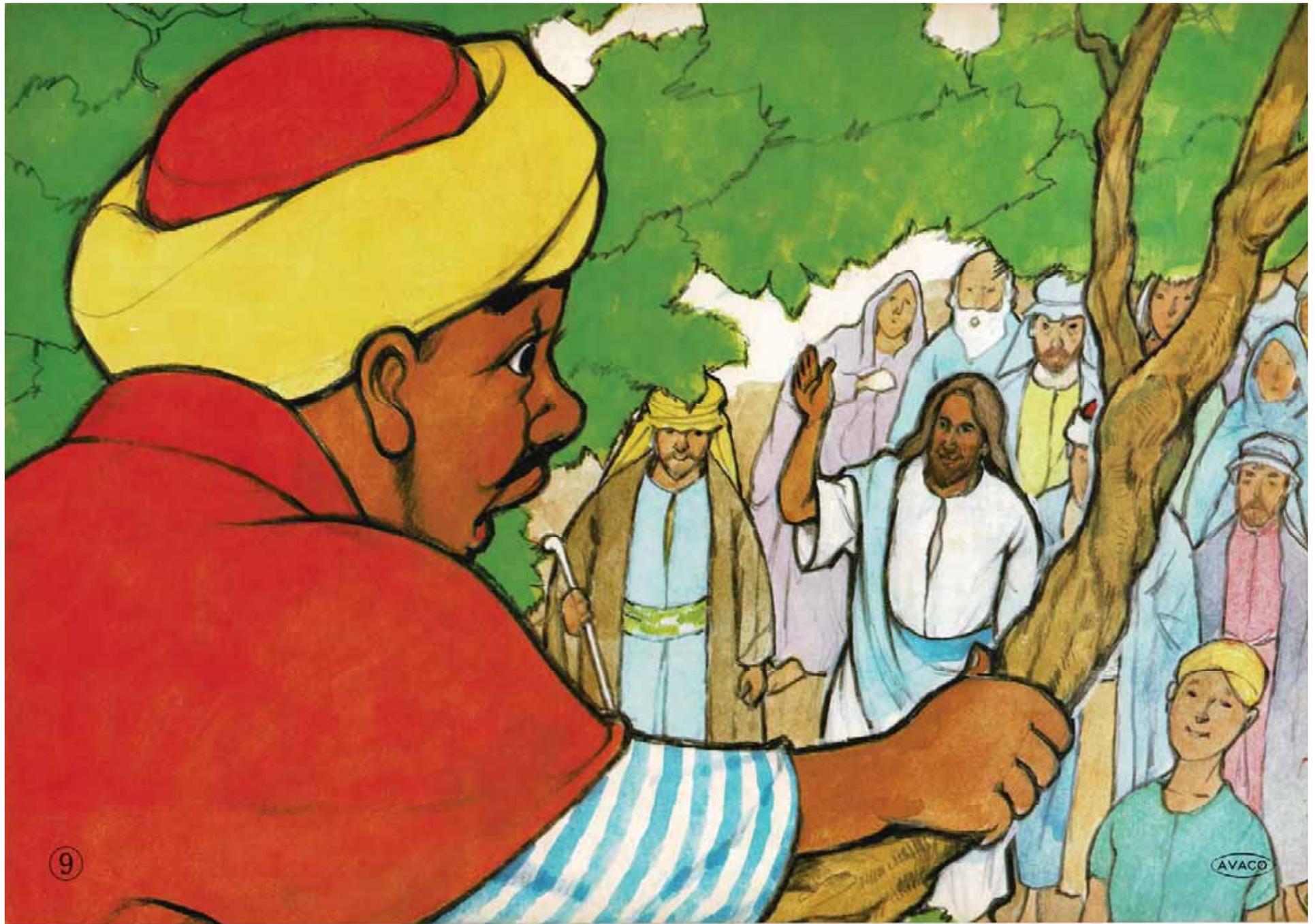


















ふくいんしよ しょう
ルカ福音書19章

9 イエスは言いわれた。

「今日きょう、救すくいがこの家いえを訪おとずれた。

この人ひともアブラハムの子こなのだから。

10 人ひとの子こは、失うしなわれたものを捜さがして
救すくうために来きたのである。」

かみ

神さまがわかるでしょ

1. ^{うつく}美しいこの^{そら}空を

^{あい}愛らしいこの^{はな}花を

^う浮かんでる^{しろ}白い^{くも}雲

^{かお}香りよき^{あおくさ}青草を

(つづき)

なが
じっと眺めるだけで

なが
ただ眺めているだけで

きみ
ほら 君もわかるでしょ

かみ
神さまがわかるでしょう

とき なみだ
2. ある時は 涙ぐみ

ひ ゆめ み
いつの日か夢に見た

こころ あい
心には愛もなく

す とき
過ごしてる時がある

(つづき)

いの とき
じつと祈った時も

いの とき
ただ祈っていた時も

きみ
ほら 君もわかるでしょ

かみ
神さまがわかるでしょう

3. すばらしいこの^{とき}時を

^{しあわ}幸 ^ひせ ^びなこの日々を

なんとなくうれしくて

^{さん}び ^{とき}讚美する時がある

(つづき)

そつと^{うた}歌った^{とき}時も

ただ^{うた}歌っている^{とき}時も

ほら ^{きみ}君もわかるでしょ

^{かみ}神さまがわかるでしょう

(おわり)

し と しんじょう
使徒信条

われ てんち つく ぬし
我は天地の造り主、

ぜんのう ちち かみ しん
全能の父なる神を信ず。

われ ひと ご
我はその独り子、

われ しゅ しん
我らの主イエス・キリストを信ず。

しゆ せいれい やど
主は聖霊によりて宿り、

おとめマリアより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみをう受け、

じゅう じ か
十字架につけられ、

し ほうむ
死にて 葬られ、

よ み くだ
陰府に下り、

みつ か め し にん
三日目に死人のうちよりよみがえり、

てん のぼ
天に昇り、

ぜん の う ち ち か み み ぎ ざ
全能の父なる神の右に座したまえり。

かしこより来たりて

い もの し もの
生ける者と死ねる者とを

さばきたまわん。

われ せいれい しん
我は聖霊を信ず。

せい こうどう きょうかい
聖なる公同の教会、

せい と まじ
聖徒の交わり、

つみ ゆる
罪の赦し、

からだのよみがえり、

い の ち し ん
とこしえの命を信ず。

アーメン。

ローマ書1章^{しょう}

8 まず^{はじ}初めに、イエス・キリストを^{とお}通して、

あなたがた^{いちどう}一同について

わたしの神に^{かみ}感謝^{かんしや}します。

あなたがたの^{しんこう}信仰が^{ぜん}全世界^{せかい}に

い つた
言い伝えられているからです。

9 わたしは、^{み こ}御子の^{ふくいん}福音を^の宣べ

^{つた}伝えながら ^{こころ}心 ^{かみ}から^{つか}神に仕えています。

その^{かみ}神が^{あか}証ししてくださるのですが、

わたしは、^{いの}祈るときには

いつもあなたがたのことを^{おも}思い^お起こし、

:10 ^{なん}何とかしていつかは^{かみ}神の^み御^{こころ}心に

よってあなたがたのところへ^い行ける

^き機^{かい}会があるように、^{ねが}願っています。

11 あなたがたにぜひ^あ会いたいのは、

れい “霊” の ^{たまもの} 賜物をいくらかでも ^わ 分け ^{あた} 与えて、
^{ちから} 力 になりたいたいからです。

12 あなたがたのところで、あなたがた
とわたしが ^{たが} 互いに ^も 持っている

^{しんこう} 信仰によって、^{はげ} 励まし ^あ 合いたいたいのです。

13 ^{きょうだい}兄弟たち、^しぜひ知ってもらいたい。

^{いほうじん}ほかの異邦人の^{おな}ところと同じく、

あなたがたの^{なに}ところでも何か^{みの}実りを

^え得たいと^{のぞ}望んで、^{なんかい}何回もそちらに

^い行こうと^{くわだ}企てながら、

こんにち ^{さまた}
今日まで 妨げられているのです。

14 わたしは、ギリシア人にも未開の

ひと ^{ち え} ^{ひと} ^{ひと}
人にも、知恵のある人にもない人にも、

は ^{せきにん}
果たすべき責任があります。

15 それで、ローマにいるあなたがたにも、

ぜひ福音を告げ知らせたいのです。

16 わたしは福音を恥としない。

福音は、ユダヤ人をはじめ、

ギリシア人にも、信じる者すべてに

救いをもたらす神の力だからです。

17 ^{ふくいん}福音には、^{かみ}神の^ぎ義が^{けいじ}啓示されて

いますが、それは、^{はじ}初めから^お終わりまで

^{しんこう}信仰を^{とお}通して^{じっげん}実現されるのです。

^{ただ}「^{もの}正しい者は^{しんこう}信仰によって^い生きる」と

^か書いてあるとおりです。 (おわり)

321. わが^{しゅ}主イエスよ、

1. わが^{しゅ}主イエスよ ひたすら

いのもと ^{あい}愛をば
祈り求む

まさせたまえ ^{しゅ}主を^{あい}愛する

^{あい}愛をば ^{あい}愛をば

(1/4)

よ たの
2. 世のやすきと 楽しみ

もと み
求めたりし 身なれど

いま ねが しゆ あい
今は願う 主を愛する

あい あい
愛をば 愛をば (2/4)

3. 来^きたれ、来^きたれ 苦^{くる}しみ、

うき^{なや}悩みも いとわじ

いさみ^{うた}歌わん 主^{しゆ}を愛^{あい}する

愛^{あい}をば、愛^{あい}をば

(3/4)

4. いまわの息^{いき} かすかに

のこ 残るときも 愛^{あい}をば

まさせたまえ 主^{しゅ}を愛^{あい}する

愛^{あい}をば 愛^{あい}をば アーメン

せつ
説

きょう
教

ぎじん しんこう い
「義人は信仰によって生きる」

たかもとひろずみせんせい
高本博純先生

533. くしき^{しゅ}主のひかり

1. くしき^{しゅ}主の^{ひかり}光 ^{こころ}心^みに満つ、

^{そら}み空^ひわたる^ひ日の ^{かげ}かげに^{まさる}まさる。

^{しゅ}ああ主よ、^{しゅ}わが主よ ^{かがや}輝く^み御^{すがた}姿を、

^{むね}胸にうつすとは、^{しゅ}わが主^{めぐ}の恵み。(1/4)

2. くしき^{もの}物の音は、^ね心^{こころ}に満つ^み

くち^い口に言^えい得^{しゅ}ねど 主^きは聞^ききたもう。

あ^{しゅ}あ主^{しゅ}よ、わが主^{かがや}よ 輝^みく御^{すがた}姿^をを、

む^ねね胸^{しゅ}にうつ^{めぐ}すとは、わが主^{しゅ}の恵^{めぐ}み。

(2/4)

3. ^{はる}春ののどけさは ^{こころ}心 ^みに満つ

^{とり}鳥は ^{こえ}声きよく ^{はな}花は ^{かお}香る。

^{しゅ}ああ主よ、わが ^{しゅ}主よ ^{かがや}輝く ^み御 ^{すがた}姿を、

^{むね}胸にうつすとは、 ^{しゅ}わが ^{めぐ}主の恵み。

(3/4)

4. ^{あい}愛の^{よろこ}喜びは ^{こころ}心に^み満つ

かくてわが^{うた}歌は ついに^な成りぬ。

ああ^{しゅ}主よ、わが^{しゅ}主よ ^{かがや}輝く^み御^{すがた}姿を、

^{むね}胸にうつすとは、 わが^{しゅ}主の^{めぐ}恵み。

アーメン

けん
献

きん
金

しやおん び けんきん
※謝恩日献金 (2回まわし)

かんしや ささ もの
感謝の献げ物

にんい きようせい
任意であり、強制ではありません

ほう
報

こく
告

本日の予定

- 教会学校（礼拝後）
- 夕拝（休会）

今週の予定

- 祈りと学びの会（祈祷会）午前・夜
9月24日（水） 奨励：川栄智章先生
- 会堂掃除 第4週担当者

次主日の予定

- 礼拝 am10:30 司式・説教：辻幸宏牧師
奏楽：辻三枝子姉
「救いに導く知恵を与える聖書」
- 泉の会・ペテロの会（礼拝後）
- 聖書講演会(pm2:00～) 渡部信先生
- 夕拝（休会）

541. ^{しょう}頌 ^{えい}栄

^{ちち}父、^{みこ}御子、みたまの

おおみかみに、

ときわにたえせず、

みさかえあれ、みさかえあれ

アーメン

しゅく
祝

ふく
福

アーメン さんしょう 三唱